

令和4年度提携事業実施状況

(1) 行政施策の立案及び実施に関すること

★は、新規事業

番号	事業名	継続 新規	市担当部課	学部課名・ 担当教員等	事業目的	主な実施状況（令和4年12月末時点）	
1	伊勢原市総合計画審議会	継続	企画部 経営企画課	教養学部 人間環境学科 勝田 悟 教授 児童教育学部 児童教育学科 桑原 公美子 教授	次期総合計画の策定に向けて、専門的知見からの意見を述べる。	期 日	4月5日、4月25日、5月9日、7月13日、8月8日、8月23日、10月19日、11月10日
						場 所	市役所 全員協議会室、書面開催
						内 容	基本構想及び基本計画の審議を行った。
						参加者数	各20名程度
						成果及び課題	専門的な見地からの意見をいただき、11月14日付けで審議会から答申を受けた。
2	伊勢原市行財政改革推進委員会	継続	企画部 経営企画課 行政経営担当	政治経済学部 政治学科 中村 隆志 講師	市の行財政運営の点検を行い、伊勢原市行財政改革推進計画の進捗状況について意見を述べる。	期 日	7月29日、8月30日
						場 所	市民文化会館練習室2
						内 容	第5次行財政改革推進計画 令和3年度の取組結果について、公共施設等総合管理計画の改訂(令和4年度)及び(仮称)公共施設再配置プランの策定に向けた作業の進め方・スケジュール等について 等
						参加者数	各15名程度
						成果及び課題	行財政改革推進計画、公共施設等総合管理計画の進行管理にあたり、委員から意見等をいただいた。
3	伊勢原市環境対策審議会	継続	経済環境部 環境対策課	医学部 医学科 基盤診療学系 立道 昌幸 教授	環境基本計画の年度報告書など環境対策に関する重要な事項を調査審議する。	期 日	①8月18日 ②11月30日 ③2月末(予定)
						場 所	市役所 2C会議室
						内 容	①第三次伊勢原市環境基本計画案 ②第三次伊勢原市環境基本計画案 ③第三次伊勢原市環境基本計画案(予定)
						参加者数	①11名②10名③12名(予定)
						成果及び課題	専門的見地からご意見をいただいた。

4	伊勢原市地域福祉計画点検推進委員会	継続	保健福祉部 福祉総務課	健康学部 健康マネジメント学科 竹内 友章 助教	伊勢原市地域福祉計画の円滑な推進を図るため、計画の進捗状況の点検、改善及び施策の充実方法等について審議を行う。	期 日	①9月8日 ②10月18日 ③11月7日
						場 所	①社会福祉協議会会議室 ②市民文化会館 練習室1 ③市役所 議会第3委員会室
						内 容	①第4期伊勢原市地域福祉計画関連施策の取組状況及び次期(第5期)地域福祉計画 ②第4期伊勢原市地域福祉計画の点検・評価まとめ及び第5期伊勢原市地域福祉計画(素案)③第5期伊勢原市地域福祉計画(案)
						参加者数	①8名 ②8名 ③8名
						成果及び課題	・専門の見地からご意見をいただいた。 ・委員会会長として会議をまとめていただいた。
5	伊勢原市自殺対策計画推進委員会	継続	保健福祉部 障がい福祉課	医学部 医学科 総合診療学系 山本 賢司 教授	自殺対策計画策定に向けた協議を行う。	期 日	2月(予定)
						場 所	市役所 会議室
						内 容	第1期伊勢原市自殺対策計画の点検評価
						参加者数	13名
						成果及び課題	専門的な意見や指摘をいただき、計画の点検評価及び検討ができています。
6	健康いせはら21(第3期)計画推進会議	継続	保健福祉部 健康づくり課	医学部 看護学科 三橋 祐子 准教授	健康いせはら21計画(第3期)をより効果的に推進するための協議を行う。	期日	年度内1～2回実施予定
						場所	—
						内容	—
						参加者数	—
						成果及び課題	—
7	★伊勢原市第3期教育振興基本計画策定委員会	新規	教育部 教育総務課	文学部 歴史学科 日本史専攻 兼平 賢治 准教授	地域の実情に応じた教育振興のための施策を、総合的・計画的に進めるための次期教育振興基本計画を策定するための協議を行う。	期日	6月23日、8月10日、10月5日、10月27日
						場所	市役所 全員協議会室等
						内容	計画策定
						参加者数	各24名程度
						成果及び課題	伊勢原市第3期教育振興基本計画の策定にあたり、専門の見地から意見をいただいた。

(2) 保健、福祉及び医療等の推進に関すること

番号	事業名	継続 新規	市担当部課	学部課名・ 担当教員等	事業目的	主な実施状況（令和4年12月末時点）
1	災害時医薬品の 供給業務	継続	企画部 危機管理課	医学部付属病院 薬剤部 薬剤科	災害時における医 薬品の供給に関する 協定に基づき、災 害時医薬品の備蓄・ 管理を行う。	期 日 通年
						場 所 市内7箇所医療救護所
						内 容 災害時医薬品管理及び更新
						参加者数 延べ5名参加
						成果及び 課題 災害時医薬品の適正管理
2	認知症に関する 医療と介護の連 携	継続	保健福祉部 介護高齢課	医学部 医学科内科学系 永田 栄一郎 教授	地域包括支援セン ター・医師会・認知 症疾患医療セン ター（東海大学病 院）、市により、認 知症にかかる医療と介 護の連携を強化す る。	期 日 6月23日（オンライン会議） 11月17日（オンライン会議）
						場 所 オンライン会議
						内 容 認知症疾患医療センターと地域の医療・ 介護・福祉の連携体制 他
						参加者数 37名
						成果及び 課題 専門の見地から認知症関連事業等につ いての意見等をいただいた。
3	★伊勢原ねんり んフェスタ2022開 催に係る未病改 善教室	新規	保健福祉部 スポーツ課	健康学部健康マネ ジメント学科 森 真理 准教授	ねんりんピックかな がわ2022剣道交流 大会に参加する選 手、大会関係者及 び一般来場者等に 対して、健康管理や 健康づくりの大切さ を啓発する。	期 日 11月13日～11月14日
						場 所 伊勢原市総合運動公園
						内 容 栄養に関する知識等の相談
						参加者数 262名
						成果及び 課題 未病改善教室で「楽しく選んで健康レ ストラン」を出店し、来場者に「栄養に関 する知識」を深めてもらった。
4	★伊勢原ねんり んフェスタ2022開 催に係る剣道エク ササイズ	新規	保健福祉部 スポーツ課	体育学部武道学科 天野 聡 准教授	ねんりんピックかな がわ2022剣道交流 大会を観覧する一 般来場者等に対し て、遊びながら体験 できる剣道エクササ イズを行うことによ り、市民の健康増進 を図る。	期 日 11月13日～11月14日
						場 所 伊勢原市総合運動公園
						内 容 剣道エクササイズの体験
						参加者数 150名
						成果及び 課題 遊びながら体験する剣道や剣道をいろ いろな形で楽しむ剣道エクササイズの監 修を行った。

5	救急車同乗実習	継続	消防本部 警防救急課	医学部 医学科 総合診療学系 中川 儀英 教授	現場救急医療から 院内医療への救命 リレーの重要性を学 習する。	期 日	5月9日～7月2日
						場 所	消防本部
						内 容	各人1当直(24時間)救急車の同乗実習 を行い、現場救急医療から院内医療へ の救命リレーの重要性を学習する。
						参加者数	10名
						成果及び 課題	救急現場を理解できる医学生を輩出す ることができた。
6	伊勢原市派遣型 救急ワークステー ション	継続	消防本部 警防救急課	医学部 医学科 総合診療学系 中川 儀英 教授	救急隊を病院に派 遣し救急救命士の 再教育を行うととも に、医師同乗で出 動し救命率の向上 を図る。	期 日	4月～3月
						場 所	東海大学医学部付属病院高度救命救 急センター
						内 容	救急救命士の再教育と医師・看護師同 乗で出動し医師の指導の下、救命処置 の実施
						参加者数	救急隊員(519名)医師・看護師(346名) 合計865名
						成果及び 課題	ワークステーションで53件(11月15日現 在)出動。中等症以上の43名が早い段 階で医療介入し治療が開始されている。
—	ライフケアセン ターとの包括的な 健康づくり事業	中止	保健福祉部 健康づくり課	医学部 医学科 総合診療学系 西崎 泰弘 教授	健診未受診の方を 健診受診につなげ るための健康バス等 の事業を実施し、市 民の健康増進を推 進する。	期 日	未実施(事業運営方法の変更により)
						場 所	—
						内 容	—
						参加者数	—
						成果及び 課題	—
—	小児看護学実習 I	中止	子ども部 子ども育成課	医学部 看護学科	看護師資格の取得 に向け、公立保育 所での現場実習を 実施する。	期 日	新型コロナウイルス感染症防止のため未 実施
						場 所	—
						内 容	—
						参加者数	—
						成果及び 課題	—

(3)市が設置する各種審議会及び専門委員会等への人材派遣に関すること

番号	事業名	継続 新規	市担当部課	学部課名・ 担当教員等	事業目的	主な実施状況（令和4年12月末時点）
1	伊勢原市情報公開審査会	継続	総務部 文書法制課	法学部法律学科 押久保 倫夫 教授 塩原 真理子 准教授	情報公開請求の諾否決定に対する審査請求や情報公開制度の在り方に関し、市長などからの諮問に応じて調査審議し、その結果を報告する。	期 日 12月23日
						場 所 市役所 議会第3委員会室
						内 容 ・委嘱状委嘱式 ・第1回会議
						参加者数 4名
						成果及び 課題 専門的知見から意見等をいただく(予定)
2	伊勢原市個人情報保護審査会	継続	総務部 文書法制課	法学部 法律学科 内山 安夫 教授	個人情報の開示請求の諾否決定に対する審査請求に関する市長などからの諮問に応じて調査審議し、その結果を報告する。	期 日 6月23日、8月17日～8月24日、10月26日、11月7日、12月22日
						場 所 市役所 議会第2委員会室、書面開催
						内 容 伊勢原市個人情報の保護に関する法律施行条例についての審議、審査請求案件についての審査等
						参加者数 各5名
						成果及び 課題 ・伊勢原市個人情報の保護に関する法律施行条例(案)の内容説明を行うとともに、審議を行った。 ・審査請求案件についての内容説明を行った。
3	伊勢原市人権施策推進委員会	継続	市民生活部 人権・広聴相談課	病院運営企画室(総務ユニット) 桑久保 ひとみ マネージャー 法学部 法律学科 押久保 倫夫 教授	本市が展開・実施する各種人権施策について、評価・点検等を行い、人権施策の総合的推進を図る。	期 日 ①6月30日 ②11月1日
						場 所 ①市民文化会館 ②市役所
						内 容 パートナーシップ宣誓制度について 犯罪被害者等支援施策について等
						参加者数 ①12人 ②10人
						成果及び 課題 専門的見地から御意見をいただいた。
4	伊勢原市いじめ問題再調査会	継続	市民生活部 人権・広聴相談課	医学部 医学科 総合診療学系 本多 ゆみえ 講師 文化社会学部 心理・社会学科 中島 香澄 教授	いじめ防止対策推進法の規定による調査の結果について、市長の諮問に応じて調査し、その結果を答申する。	期 日 開催なし
						場 所 ー
						内 容 ー
						参加者数 ー
						成果及び 課題 ー
5	伊勢原市清掃美化審議会	継続	経済環境部 環境美化センター	教養学部 人間環境学科 勝田 悟 教授	清掃に関する制度の改善整備及び清掃美化に関する根本的対策を調査審議する。	期 日 11月28日
						場 所 市役所 3A会議室
						内 容 環境衛生事業の概要
						参加者数 12人
						成果及び 課題 専門的見地から、清掃美化審議会にて意見等をいただいている。

6	伊勢原市成年後見・権利擁護推進委員会	継続	保健福祉部 福祉総務課	法学部 法律学科 塩原 真理子 准教授	成年後見制度の利用促進及び伊勢原市成年後見・権利擁護推進センターの適正な事業運営に関する事項について、検討する。	期 日	①10月4日 ②11月14日～22日 ③1月下旬(予定)
						場 所	①市民文化会館 練習室2 ②書面開催
						内 容	①伊勢原市成年後見・権利擁護支援センター事業実績・計画、第5期伊勢原市地域福祉計画策定②第5期伊勢原市地域福祉計画策定に向けた協議
						参加者数	13人
						成果及び課題	専門的見地からご意見をいただいた。
7	伊勢原市社会福祉審議会	継続	保健福祉部 福祉総務課	医学部 看護学科 吉川 隆博 教授 教育開発研究センター 御領 奈美 准教授	市長の諮問に応じて社会福祉に関する事項について、調査審議する	期 日	11月18日
						場 所	市役所 議会全員協議会室
						内 容	第5期伊勢原市地域福祉計画の策定について、第4次伊勢原市食育推進計画の策定について、健康いせはら21計画計画期間1年延長について
						参加者数	14人
						成果及び課題	専門的な見地から御意見をいただいた。
8	伊勢原市障害支援区分判定審査会	継続	保健福祉部 障がい福祉課	医学部看護学科 吉川 隆博 教授 健康学部 健康マネジメント学科 中野 いずみ 教授	介護給付に係る障害支援区分に関する審査と判定を行う。	期 日	毎月3回(第2金曜日、第1水曜日、第3火曜日)
						場 所	市役所 会議室
						内 容	介護給付に係る障害支援区分に関する審査と判定
						参加者数	5名
						成果及び課題	専門的な意見、判断をいただき、障害支援区分の判定をすることができている。
9	伊勢原市障がい者とくらしを考える協議会	継続	保健福祉部 障がい福祉課	健康学部 健康マネジメント学科 中越章乃 講師	障害者及びその家族の個々の事情に即したサービスが提供されているか、また伊勢原市における地域課題や、施策提案等について確認し、協議、検討を行う。	期 日	7月7日、10月7日、2月6日(予定)
						場 所	市役所 会議室
						内 容	・各専門部会からの報告を受け、地域課題や施策提案等について、全体での協議検討 ・障害者計画、障害福祉計画、障害児福祉計画の点検評価 ・困難事例への対応のあり方について ・その他地域の障害福祉について検討すべき事項
						参加者数	20名程度(協議内容により変更あり)
						成果及び課題	各専門部会からの報告及び提案事項等について意見、助言をいただき検討することができている。
10	介護保険運営協議会	継続	保健福祉部 介護高齢課	健康学部 健康マネジメント学科 西村 昌記 教授	介護保険事業の運営に関する事項及び地域包括支援センターの運営等に関する事項の審議や高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の進行管理を行う。	期 日	9月1日(書面会議)、11月10日、2月(予定)
						場 所	市役所 2C会議室
						内 容	高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画関連 等
						参加者数	各回12名程度
						成果及び課題	専門的見地から介護保険運営についての意見等をいただいた。

15	★伊勢原市予防接種健康被害調査委員会	新規	保健福祉部健康づくり課感染症対策担当	医学部 医学科 総合診療学系 小澤 秀樹 教授	予防接種法に基づき実施した予防接種により発生した健康被害について、当該被害の適正かつ円滑な調査を行う。	期 日	1月(予定)
						場 所	市役所 全員協議会室(予定)
						内 容	予防接種により発生した健康被害について、ワクチンとの因果関係等を調査する。
						参加者数	約15名
						成果及び課題	—
16	伊勢原市スポーツ推進審議会	継続	保健福祉部スポーツ課	医学部看護学科 沓澤 智子 教授	市民生涯スポーツ推進基本計画に基づき、市民が主体の生涯スポーツ社会の実現に向けたスポーツ活動の推進策などを審議する。	期 日	8月24日、11月17日、2月(予定)
						場 所	市役所 2C会議室
						内 容	スポーツ関係団体補助金額やスポーツ賞被表彰者、スポーツ推進計画策定の審議など
						参加者数	11人
						成果及び課題	専門的な見地から意見等をいただいた。
17	伊勢原市スポーツ推進審議会	継続	保健福祉部スポーツ課	体育学部生涯スポーツ学科 野坂 俊弥 教授	市民生涯スポーツ推進基本計画に基づき、市民が主体の生涯スポーツ社会の実現に向けたスポーツ活動の推進策などを審議する。	期 日	8月24日、11月17日、2月(予定)
						場 所	市役所 2C会議室
						内 容	スポーツ関係団体補助金額やスポーツ賞被表彰者、スポーツ推進計画策定の審議など
						参加者数	11人
						成果及び課題	専門的な見地から意見等をいただいた。
18	伊勢原市国民健康保険運営協議会	継続	保健福祉部保険年金課	教育開発研究センター 御領 奈美 准教授	国民健康保険事業の運営に関する重要事項を審議する。	期 日	①8月17日、②3月末(予定)
						場 所	①市役所 2C会議室 ②市役所 会議室(予定)
						内 容	国民健康保険の財政運営状況等について
						参加者数	9人
						成果及び課題	専門的な見地から意見等をいただいた。
19	伊勢原市子ども・子育て会議	継続	子ども部子ども育成課	健康学部健康マネジメント学科 菅野 和恵 准教授	子ども・子育て支援事業計画に関する進行管理、教育・保育施設等に関する事項を審議する。	期 日	第1回:11月29日 第2回:1~2月(予定)
						場 所	第1回:子ども科学館内会議室 第2回:市役所 会議室(仮)
						内 容	第1回:第2期伊勢原市子ども・子育て支援事業計画の中間見直し 第2回:令和3年度の計画実績、令和5年度の利用定員等
						参加者数	第1回:10名 第2回:13名(予定)
						成果及び課題	回答時点では未開催のため無し

20	伊勢原市要保護児童対策地域協議会	継続	子ども部 子ども家庭相談課	医学部付属病院 患者支援センター 総合相談室 内田 敦子 室長	子どもを守る地域ネットワーク構成員と連携強化を図り、児童虐待の発生予防、早期発見・早期対応について取り組む。	期 日	7月8日、22日、2月17日(予定)
						場 所	シティプラザふれあいホール
						内 容	要保護児童対策地域協議会の令和3年度活動実績報告及び令和4年度取組方針等の協議
						参加者数	①7月8日:20名 ②7月22日:13名
						成果及び課題	地域における医療機関の立場から専門的助言をいただいた。
21	伊勢原市都市計画審議会	継続	都市部 都市政策課	建築都市学部 土木工学科 梶田 佳孝 教授	都市計画案件に関する審議等を行う。	期 日	①10月31日 ②2月(予定)
						場 所	市役所 会議室
						内 容	①伊勢原都市計画生産緑地地区の変更について 他 ②伊勢原大山IC周辺の都市計画変更について 他(予定)
						参加者数	①13名 ②16名(予定)
						成果及び課題	委員の委嘱と、都市計画の案等の事項に関して協議し、答申を頂いている。
22	伊勢原市まちづくり審議会	継続	都市部 都市政策課	法学部 法律学科 塩原 真理子 准教授	市民等が主体のまちづくり活動の推進及び支援並びに開発事業の協議調整、また、景観まちづくりに関する審議を行う。	期 日	①7月27日 ②2月1日(予定)
						場 所	①市役所 全員協議会室 ②市役所 会議室
						内 容	地域景観資源登録について等
						参加者数	①6名 ②7名(予定)
						成果及び課題	委員の委嘱と、地域景観資源登録の案等の事項に関して協議し、答申を頂いている。
23	伊勢原市下水道運営審議会	継続	土木部 下水道経営課	政治経済学部 経営学科 松原 沙織 教授	受益者負担金、下水道使用料、下水道の運営について審議するほか、下水道事業の運営に関する事項を調査・研究する。	期 日	①6月2日 ②11月17日 ③2月下旬～3月(予定)
						場 所	アクアクリーンセンター
						内 容	令和4年度予算の概要について 等
						参加者数	①11名 ②8名 ③12名(予定)
						成果及び課題	専門的な見地から意見等をいただいた。
24	伊勢原市文化財保護審議会	継続	教育部 教育総務課 歴史文化担当	文学部 歴史学科考古学専攻 北條 芳隆 教授	教育委員会の諮問に応じて、文化財の指定、その指定の解除、保存及び活用に関する専門的、技術的事項を調査審議し、教育委員会に建議する。	期 日	年度内2回(予定)
						場 所	—
						内 容	—
						参加者数	—
						成果及び課題	—

25	社会教育委員会 議	継続	教育部 社会教育課	ティーチングクオリ フィケーションセン ター 古里 貴士 准教授	文化や体育の振 興、家庭教育支援、 公民館運営等の社 会教育全般につい て、社会教育委員 会議に出席して意 見を述べる。	期 日 ①5月20日、②9月2日、③1月20日(予 定)
						場 所 中央公民館会議室A
						内 容 社会教育全般について意見を述べる。
						参加者数 ①12人 ②11人
						成果及び 課題 専門的見地から意見をいただいた。
26	伊勢原市立子ど も科学館運営協 議会	継続	教育部 図書館・子ど も科学館	理学部 化学科 藤尾 克彦 教授	子ども科学館の円 滑な運営を図るた めに協議をする。	期 日 11月1日
						場 所 市立子ども科学館会議室
						内 容 子ども科学館の運営についての協議
						参加者数 委員7名
						成果及び 課題 子ども科学館事業等について協議いた だいた。
27	伊勢原市図書館 協議会	継続	教育部 図書館・子ど も科学館	ティーチングクオリ フィケーションセン ター 学校教育学系 朝倉 徹 教授	図書館の円滑な運 営を図るために協 議をする。	期 日 7月14日
						場 所 市立図書館会議室
						内 容 図書館事業についての協議
						参加者数 委員6名
						成果及び 課題 図書館事業について協議いただくと ともに会長としてとりまとめいただいた。

(4) 市民活動、生涯学習活動、文化・芸術活動等への支援に関すること

番号	事業名	継続 新規	市担当部課	学部課名・ 担当教員等	事業目的	主な実施状況（令和4年12月末時点）	
1	かかりつけ医普及 定着促進講演会	継続	保健福祉部 健康づくり課	医学部 医学科 総合診療学系 西崎 泰弘 教授	地域住民を対象とした生活習慣病予防講座を開催する。	期 日	10月4日
						場 所	市民文化会館小ホール
						内 容	新型コロナ診療を通して、いま、お伝えしたいこと
						参加者数	58人
						成果及び 課題	感染症予防・生活習慣病予防・かかりつけ医について普及・啓発できた。
2	総合型地域スポーツクラブ運営 事業	継続	保健福祉部 スポーツ課	医学部 副学部長 医学部看護学科 吉川 隆博 教授	市民の体力・健康増進を図るため、年間を通して、月1～2回のスポーツ教室を5種目と看護・社会福祉・スポーツ運動講座を設け、市民の継続的な運動・スポーツ活動の展開を推進する。	期 日	7月7日～4月18日
						場 所	東海大学伊勢原校舎・市立武道館・市体育館
						内 容	ウィークデースポーツ教室（筋力トレーニング・ヨガ）市民健康スポーツ大学（座学・運動）
						参加者数	約150名
						成果及び 課題	感染症対策のため規模を縮小して実施した。
3	子育て応援ボランティア（ファミリー・サポート・センター支援会員及び子育てサポーター）研修会・養成講座	継続	子ども部 子育て支援課	医学部 看護学科 杉村 篤士 講師	地域全体で子育てをサポートする人材の養成・育成を図るための講座を開催する。	期 日	10月14日
						場 所	市役所 2C・2D会議室
						内 容	小児看護の基礎知識
						参加者数	18人
						成果及び 課題	新型コロナウイルス感染症対策に努めながら、新規ファミリー・サポート・センター支援会員及び子育てサポーターの研修会・養成講座並びに既存会員に対するスキルアップ研修を実施した。
4	市民のための図書館教養講座	継続	教育部 図書館・子ども科学館	文学部 歴史学科 日本史専攻 三田 武繁 教授	市民の読書欲、探究心の向上を図るため、教養講座を開催する。	期 日	11月26日
						場 所	市立図書館AVホール
						内 容	承久の乱—後鳥羽上皇の敗因、幕府の勝因—
						参加者数	定員50名
						成果及び 課題	NHK大河ドラマで市民の関心の高い鎌倉時代を題材に、郷土史にも関連した講座を開催した。
—	いせはら市民大学講座（社会教育課と共催）	中止	保健福祉部 福祉総務課	健康学部 健康マネジメント学科 竹内 友章 助教	福祉政策の推進に必要な人材育成を着実に進めるため、地域福祉に関する研修講座を行う。	期 日	新型コロナウイルス感染症防止のため未実施
						場 所	—
						内 容	—
						参加者数	—
						成果及び 課題	—

—	東沼目安心見守り隊	中止	保健福祉部 福祉総務課	健康学部 健康マネジメント学 科 竹内 友章 助教	東沼目自治会で 行っている見守り活 動に生徒が参加し、 地域の支え合い活 動について理解を 深める。	期 日	新型コロナウイルス感染症防止のため未 実施
						場 所	—
						内 容	—
						参加者数	—
						成果及び 課題	—
—	市民公開講座	中止	保健福祉部 健康づくり課	医学部付属病院長 医学部医学科外科 学系 渡辺 雅彦 教授	地域住民を対象とし た公開講座を開催 する。	期 日	新型コロナウイルス感染症防止のため未 実施
						場 所	—
						内 容	—
						参加者数	—
						成果及び 課題	—
—	伊勢原市クルリン 健康ポイント事業	中止	保健福祉部 健康づくり課	医学部 看護学科 沓澤 智子 教授	普段運動をあまり行 わない方や、健康 づくりには興味が あっても、行動に移 せない市民等を対 象に、健康ポイント 制導入による運動・ スポーツプログラム を行い、楽しみなが ら気軽に参加でき る健康増進の環境を 提供する。	期 日	未実施(事業運営方法の変更により)
						場 所	—
						内 容	—
						参加者数	—
						成果及び 課題	—
—	大学開放講座	中止	教育部 社会教育課	健康科学部 体育学部	健康、生活、福祉等 の基本的な知識と 技術を習得するた めの機会と場を提供 する。	期 日	新型コロナウイルス感染症防止のため未 実施
						場 所	—
						内 容	—
						参加者数	—
						成果及び 課題	—

(5) 産業、観光等地域経済の振興に関すること

番号	事業名	継続 新規	市担当部課	学部課名・ 担当教員等	事業目的	主な実施状況（令和4年12月末時点）
1	鳥獣被害対策に関する学術研究への支援	継続	経済環境部 農業振興課	情報理工部 コンピュータ応用工 学科 稲垣 克彦 教授	鳥獣から農作物等の被害軽減に向けたICTやロボット技術を活用した追い払い実験検証を行う。	期 日 未定
						場 所 ー
						内 容 ー
						参加者数 ー
						成果及び 課題 ー
2	道灌まつりポスターデザイン	継続	経済環境部 商工観光課	教養学部 芸術学科 池村 明生 教授	東海大学の学生による道灌まつりのポスターデザインを行う。	期 日 6月～8月
						場 所 東海大学湘南キャンパス
						内 容 道灌まつりポスターデザインの作製
						参加者数 8名
						成果及び 課題 8名8作品から1作品を選出し、ポスターおよびプログラムに起用した。
3	平成大山講プロジェクト推進協議会	継続	経済環境部 商工観光課	観光学部 観光学科 橋本 佳典 教授	神奈川県の新たな観光の核づくり事業の認定を受け、かつての「大山講」のように多くの人が訪れたにぎわいのある大山の再現を目指す。	期 日 9月22日
						場 所 書面開催
						内 容 令和3年度実施結果及び令和4年度実施計画
						参加者数 21名
						成果及び 課題 各市の観光事業計画を共有した。
4	TOKAIグローバルフェスタ湘南マルシェ出店	継続	経済環境部 商工観光課 (観光協会)	キャンパスサポート オフィス(地域連携 担当)	東海大学湘南キャンパスに特産品を販売・PRするスペースを開設し、伊勢原市の魅力や情報を発信する。	期 日 10月22日
						場 所 東海大学湘南キャンパス
						内 容 オープンキャンパス、地域交流事業
						参加者数 ー
						成果及び 課題 3年ぶりの開催で多くの来場者に特産物をPRする機会となり売上にも繋がった。
ー	丹沢湘南観光連携会議	中止	経済環境部 商工観光課 (観光協会)	観光学部	伊勢原市、秦野市、平塚市、大磯町、二宮町、中井町、湘南地域県政総合センター、東海大学観光学部によりツアー企画などの会議を開催する。	期 日 ー
						場 所 ー
						内 容 ー
						参加者数 ー
						成果及び 課題 ー

	第55回伊勢原観光道灌まつりに係る「市民安全・安心パレード」	中止	経済環境部 商工観光課	東海大学吹奏楽研究会	交通安全関係者及びボーイスカウト等とパレードを行い、交通安全等呼びかける。	期日	—
						場所	—
						内容	—
						参加者数	—
						成果及び課題	縮小開催にともない、市民安全・安心パレードは中止とした。
—	東海大学伊勢原校舎物産展	中止	経済環境部 商工観光課 (観光協会)	観光学部 観光学科 病院運営企画室(総務ユニット)	東海大学医学部付属病院に推奨みやげ品等の販売スペースを開設し、物産品を販売する。	期日	—
						場所	—
						内容	—
						参加者数	—
						成果及び課題	新型コロナウイルスの感染リスクを回避するため令和4年度は中止した。

(6) 大学の学術研究における行政情報の提供に関すること

番号	事業名	継続 新規	市担当部課	学部課名・ 担当教員等	事業目的	主な実施状況（令和4年12月末時点）	
1	風水害に関する学術研究への支援	継続	企画部 危機管理課	建築都市学部 土木工学科 杉山 太宏 教授	鈴川水位計を設置し、住民の警戒、避難体制の構築を図る。	期日	通年
						場所	鈴川 大場田橋
						内容	簡易水位計による、継続的な水位観測
						参加者数	数名
						成果及び課題	設置場所の拡大が必要である。

(7) 市及び大学施設の相互利用に関すること

番号	事業名	継続 新規	市担当部課	学部課名・ 担当教員等	事業目的	主な実施状況（令和4年12月末時点）	
1	東海大学嬭恋高原研修センター施設利用	継続	企画部 経営企画課	学園事務センター 人事・法務ユニット	群馬県吾妻郡嬭恋村にある「東海大嬭恋高原研修センター」について、伊勢原市民が東海大学関係者と同じ割引価格で利用できる。	期日	通年
						場所	—
						内容	市民等の申込みにより、センターの宿泊場所及び付随施設を提供する。
						参加者数	—
						成果及び課題	新型コロナウイルスの影響により、当初令和2年4月に予定していた市HPでの公開を見合わせている状況。当該公表時期については、要検討。
2	2022年度東海大学医学部解剖慰霊祭	継続	市民生活部 市民協働課 市民文化会館	病院本部病院運営 企画室	東海大学医学部解剖慰霊祭について、市民文化会館を使用し、実施する。	期日	10月19・20日
						場所	市民文化会館大ホール
						内容	解剖慰霊祭
						参加者数	550人
						成果及び課題	施設の相互利用により、解剖慰霊祭ができた。

3	Spring Concert2022	継続	市民生活部 市民協働課 市民文化会館	東海大学吹奏楽研究会	Spring Concert2022について、市民文化会館を使用し、実施する。	期 日	4月2日・3日
						場 所	市民文化会館大ホール 他
						内 容	Spring Concert2022
						参加者数	526人
						成果及び課題	施設の相互利用により、Spring Concertを開催することができた。
4	Autumn Concert2022	継続	市民生活部 市民協働課 市民文化会館	東海大学吹奏楽研究会	Autumn Concert2022について、市民文化会館を使用し、実施する。	期 日	11月1日
						場 所	市民文化会館大ホール 他
						内 容	Autumn Concert2022
						参加者数	470人
						成果及び課題	施設の相互利用により、Autumn Concertを開催することができた。
5	伊勢原市立図書館と東海大学図書館の相互利用協定	継続	教育部 図書館・子ども科学館	キャンパスサポート オフィス (図書担当)	市民と東海大学職員・学生の図書館の相互利用を行う。	期 日	随時
						場 所	伊勢原市立図書館及び東海大学付属図書館
						内 容	東海大学付属図書館の資料の貸出
						参加者数	—
						成果及び課題	東海大学付属図書館は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、学外利用を休止中、再開未定。
—	伊勢原市教育センター研究発表会	中止	教育部 教育センター	病院運営企画室(総務ユニット)	教育センターの研究発表のため、ICT機器の環境を整った東海大学伊勢原キャンパス講堂Aを利用する。	期 日	令和4年度から市文化会館で実施(令和2年度、令和3年度は感染対策のため中止)
						場 所	—
						内 容	—
						参加者数	—
						成果及び課題	—

(8) その他

番号	事業名	継続 新規	市担当部課	学部課名・ 担当教員等	事業目的	主な実施状況(令和4年12月末時点)	
1	KWCプロジェクト	継続	企画部 経営企画課	KWC (Kanagawa Wellness Corridor)	東海大学、近隣自治体、民間企業が連携し、地域の活性化や持続可能な地域社会の構築を図ることを検討するKWCの総会等へ出席する。	期 日	①6月24日(総会) ②11月30日(臨時総会)
						場 所	東海大学湘南キャンパス4号館
						内 容	①2021年度事業報告、決算報告 等 ②地域計画のコンセプト、各部会の進捗状況
						参加者数	各30名程度
						成果及び課題	各部会での進捗状況が報告された。

2	伊勢原市デジタル移動通信システム連絡協議会	継続	企画部 危機管理課	病院運営企画室(総務ユニット) 桑久保 ひとみ マネージャー	デジタル移動通信システムの管理及び運用基準について確認を行う。	期 日	5月11日
						場 所	市役所
						内 容	デジタル移動通信システムの運用等確認
						参加者数	書面開催
						成果及び課題	防災技術と知識の向上が図られた。
3	伊勢原市総合防災訓練	継続	企画部 危機管理課	病院運営企画室(総務ユニット) 桑久保 ひとみ マネージャー	災害時応援協定に基づく災害時医薬品の調達、災害時医薬品の搬送について、総合防災訓練を通じて、役割分担等の確認を行う。	期 日	1月22日
						場 所	東海大学医学部付属病院、伊勢原中学校
						内 容	災害時医薬品の調達・搬送訓練
						参加者数	数名
						成果及び課題	関係機関との連携体制強化が図られた。
4	就業体験学生(インターンシップ)実習事業	継続	総務部 職員課	政治経済学部 政治学科 小林 隆 教授	行政に参加する機会と情報を学生に提供する。	期 日	8月4日
						場 所	市役所 全員協議会室
						内 容	座談会(市の紹介や意見交換等)を実施。 ※新型コロナウイルス感染拡大により、インターンシップに替えて実施した。
						参加者数	2人
						成果及び課題	市の紹介や意見交換等を行うことで、市の行政に興味を持ってもらうことができた。
5	伊勢原市平和史料収集事業	継続	市民生活部 市民協働課	文化社会学部 広報メディア学科 水島 久光 教授	①平和資料収集事業(平和史料展示、史料のデータベース化、平和ドキュメンタリー映像制作等)の実施に向けて、事業の進め方への協議をするとともに、撮影等については学生に協力をしてもらう。 ②中学生ヒロシマ平和の旅と平和を祈念するパネル展示を監修してもらい、中学生平和学習事業及び市民への平和啓発事業をより実効性あるものとする。	期 日	②【中学生ヒロシマ平和の旅】 8月5日(土)・6日(日) 【平和を祈念するパネル展示】 8月26日(金)・27日度 ※①平和史料収集事業(予定)
						場 所	【中学生ヒロシマ平和の旅】広島市内 【平和を祈念するパネル展示】 伊勢原市民文化会館展示室1・2
						内 容	【中学生ヒロシマ平和の旅】 コース設定や現地での講義等 【平和を祈念するパネル展示】 展示内容の監修及び内容説明を参加者に対して行う。
						参加者数	【中学生ヒロシマ平和の旅】 市立中学校3年生4人、随員教諭2人、 水島研究室3人 【平和を祈念するパネル展示】 来場者204人
						成果及び課題	事業を通じて市民(主に若年層)の平和意識を啓発し、平和の尊さ・戦争の悲惨さへの理解を深めることができた。パネル展示の来場者を増やすために、展示内容・周知方法の拡充が今後の課題である。

6	★マイナンバー カード出張申請 支援	新規	市民生活部 戸籍住民課	キャンパスサポート オフィス(総務担当)	平塚市主催の平塚・ 秦野・伊勢原の3市 合同により、東海大 学に在籍している学 生及び教職員への マイナンバーカード の普及・推進を目的 として実施する。	期 日	10月5日・6日・11日・12日の4日間
						場 所	東海大学湘南キャンパス内食堂等
						内 容	3市に住居登録している学生・教職員を 対象としたマイナンバーカードの申請補 助
						参加者数	各10名程度
						成果及び 課題	4日間で30人ほどのマイナンバーカード の申請補助ができた。
7	治験審査委員会 (病院主催)	継続	保健福祉部 健康づくり課	医学部付属病院 治験審査委員会 治験審査委員会事 務局	治験に先立って治 験の安全性と理論 性の審査を行う。	期 日	月1回実施
						場 所	オンライン開催
						内 容	治験薬審査
						参加者数	審査委員15名程度(市は1名)
						成果及び 課題	治験薬審査が適正に行われた。
8	臨床研究審査委 員会 (病院主催)	継続	保健福祉部 健康づくり課	医学部医学科 基盤診療学系 竹下 啓 教授	人を対象とした医学 系研究における倫 理的配慮に関して 審査を行う。	期 日	月1回実施
						場 所	オンライン開催
						内 容	人を対象とした医学系研究における倫 理的配慮に関しての審査
						参加者数	審査委員12名(市は2名)
						成果及び 課題	臨床研究の審査が適正に行われた。
9	神奈川県ドクター ヘリ運行調整委 員会 (病院主催)	継続	保健福祉部 健康づくり課	医学部付属病院長 医学部医学科外科 学系 渡辺 雅彦 教授	ドクターヘリの効果 的かつ安定的な運 行に必要な諸機関 の調整・広報・調査 及び検証を行う。	期 日	毎月(メールによる実績報告のみ)
						場 所	メールによる実績報告書の送付
						内 容	効率的かつ安定的な運航を行うための 調整及び検証
						参加者数	未把握
						成果及び 課題	ドクターヘリの運航状況が正しいか外部 委員として審査することにより、効果的な 運航に繋がっている。
10	東海大学医学部 付属病院ドクター ヘリ運営委員会 (病院主催)	継続	保健福祉部 健康づくり課	医学部付属病院長 医学部医学科外科 学系 渡辺 雅彦 教授	東海大学医学部付 属病院での救急体 制に関する検討を 行う。	期 日	通年
						場 所	—
						内 容	—
						参加者数	—
						成果及び 課題	連絡があり次第、随時開催

11	東海大学医学部 付属病院医療安全 管理業務監査 委員会 (病院主催)	継続	保健福祉部 健康づくり課	医学部付属病院長 医学部医学科外科 学系 渡辺 雅彦 教授	病院の医療安全管理業務が適切に遂行されていることを確認するため、監査委員の立場から、必要な意見・助言を行う。	期 日	通年
						場 所	—
						内 容	—
						参加者数	—
						成果及び 課題	連絡があり次第、随時開催
12	東海大学地域の 課題解決推進会 議	継続	保健福祉部 健康づくり課	健康学部長 健康学部 健康マネジメント学 科 堀 真奈美 教授	地域における民産官学が連携し、地域の健康課題の具体化及び潜在的な市民ニーズを明らかにし地域の健康課題の解決を推進する。	期 日	未定
						場 所	—
						内 容	—
						参加者数	—
						成果及び 課題	—
13	放課後子ども教 室	継続	子ども部 青少年課	学生	放課後の時間に児童が学習や工作、スポーツ等の活動を通して、地域の大人や学生など様々な年齢の人々とふれあう。	期 日	5月18日(水)～3月末日
						場 所	伊勢原小学校、石田小学校、竹園小学校、成瀬小学校、比々多小学校、大山小学校、桜台小学校、高部屋小学校
						内 容	工作教室、科学実験、スポーツ体験、マジックショー、自主学習など
						参加者数	伊勢原小学校:58人、石田小学校:90人、竹園小学校:68人、成瀬小学校:117人、比々多小学校:67人、大山小学校:21人、桜台小学校:95人、高部屋小学校:79人
						成果及び 課題	放課後子ども教室の運営を支援するボランティア募集を計画していたが、コロナ禍の影響により、従事する学生に対して募集を依頼するまでには至っていない。
14	伊勢原市教育委 員会点検評価 (外部有識者によ る意見)	継続	教育部 教育総務課	文学部 歴史学科 日本史専攻 兼平 賢治 准教授	教育委員会所管事業の点検評価について、外部有識者の視点から意見を述べる。	期 日	7～9月
						場 所	市役所 第2委員会室等
						内 容	令和3年度教育委員会所管事業の点検評価に対する意見
						参加者数	各15名程度
						成果及び 課題	専門的見地から意見(書面)をいただいた。
15	養護実習	継続	教育部 学校教育課	医学部 看護学科 (教職担当教員) 籠谷 恵	教育実習生受入依頼を受けた場合、市内中学校が直接受入れを行う。	期 日	5～6月
						場 所	高部屋小・桜台小・山王中・成瀬中
						内 容	養護教諭教育実習
						参加者数	4名
						成果及び 課題	養護教諭の職務を実践的に学ぶ場を提供できた。

16	★ショートインターンシップ	新規	教育部 学校教育課	児童教育学部 児童教育学科 (教職担当教員) 前田 晶子	インターンシップ受 入依頼を受けた場 合、市内小学校が 直接受入れを行う。	期 日	9月
						場 所	比々多小・大田小
						内 容	2日間の見学・体験
						参加者数	2名
						成果及び 課題	大学1年生が出身地での見学・体験を 行う場を提供できた。
17	学校訪問教育相 談研修会	継続	教育部 教育センター	医学部 医学科 専門診療学系 高橋 有記 助教 文化社会学部 心理・社会学科 中島 香澄 教授	市内小中学校にお いて、精神科医、臨 床心理士などの専 門家を講師に招き、 事例検討会を行う。	期 日	6月27日(月)、8月3日(水)、9月12日 (月)、10月17日(月)、11月21日(月)
						場 所	各小中学校
						内 容	不登校や多動等、集団生活にうまく適応 できない児童生徒について、心理学及 び医学的な側面から専門的なアドバイ スを受けながら、事例研究・情報交換等 を実施
						参加者数	各回15名～30名程度
						成果及び 課題	専門的な見地から児童生徒の理解を深 める機会となっている
18	ハートフルフレ ンド活用事業	継続	教育部 教育センター	健康学部 健康マネジメント学 科 小林 理 准教授 ティーチングクオリ フィケーションセン ター 学校教育学系 朝倉 徹 教授	話し相手がない、 仲間に入りづらい、 集団活動に適応し にくい等の児童生 徒を対象に、友人、 家庭関係及び学習 についてなどの心 配事を気軽に相談 したり、話を受け止 めたりすることができる ハートフルフレ ンドとして学生ボラン ティアを配置し、教 育相談の充実を図 る。	期 日	通年
						場 所	市内小中学校
						内 容	話し相手がない、仲間に入りづらい等 の児童生徒を対象に、話し相手、遊び 仲間又は学習支援者として活動
						参加者数	2名
						成果及び 課題	学生にボランティア活動を行う機会を提 供できている。
19	東海学級連絡協 議会	継続	教育部 教育センター	医学部 医学科 総合診療学系 小池 隆志 講師 病院運営企画室(総 務ユニット) 桑久保 ひとみ マ ネージャー	東海学級(院内学 級)の管理・運営及 び伊勢原市教育委 員会と東海大学医 学部附属病院との 連絡・調整を行う。	期 日	第1回:5月 書面開催 第2回:11月 書面開催 第3回:3月(予定)保留
						場 所	第1回:5月 書面開催 第2回:11月 書面開催 第3回:3月(予定)保留
						内 容	東海学級での活動報告を通して、様子 を確認し、情報交換を行う。
						参加者数	15名程度
						成果及び 課題	東海学級の管理・運営について共通理 解が促進され、東海学級の円滑な運営 を図ることができている。
20	適応指導教室実 習	継続	教育部 教育センター	文化社会学部 心理・社会学科 中島 香澄 教授	教育センターと大学 院側双方のそれぞ れのねらいを達成 することを目的に教 育センター・適応指 導教室において実 習を行う。	期 日	5月～9月【春学期】 10月～3月【秋学期】
						場 所	適応指導教室
						内 容	児童・生徒の抱える問題やニーズを把 握した適切な支援
						参加者数	2名
						成果及び 課題	適応指導教室通室児童生徒への適切 な関わりを通じ適応指導教室のより良 い運営を図ることができている。

21	適応指導教室 スーパーヴァイザー	継続	教育部 教育センター	文化社会学部 心理・社会学科 中島 香澄 教授	様々な課題を抱えた子どもたち、その家族に対して専門的に接するには、知識・経験・人格・コミュニケーションの技術が必要であるため、適応指導教室に携わる職員の技術・人間性の向上のために、スーパーヴァイザーによる指導を仰ぐ場とする。	期 日	11月10日(木)
						場 所	適応指導教室
						内 容	事例検討
						参加者数	4名
						成果及び 課題	適応指導教室に通室する児童生徒の理解と対応を深める機会となっている。
—	健康いせはらサ ポーター養成講 座	中止	保健福祉部 健康づくり課	健康学部 健康マネジメント学 科 妻鹿 ふみ子 教授	健康いせはらサ ポーター養成のた めの講習会を行う。	期 日	新型コロナウイルス感染症防止のため未実施
						場 所	—
						内 容	—
						参加者数	—
						成果及び 課題	—
—	教職課程教育実 習	中止	教育部 学校教育課	ティーチングクオ リフィケーションセ ンター メディカルサイエ ンスカレッジオフィス (教学・図書ユニット)	教育実習生受入依 頼を受けた場合、市 内中学校が直接受 入れを行う。	期 日	受入依頼がなかったため未実施
						場 所	—
						内 容	—
						参加者数	—
						成果及び 課題	—